



■発行日
平成21年1月7日(水)
■発行元
新潟県議会議員 小林一大事務所
〒956-0864
新潟市秋葉区新津本町2-7-10
TEL 0250-24-8339 FAX 0250-24-8328

皆様、あけましておめでとうございます。素晴らしいよき年をお迎えのことと思います。

旧年中は、様々な場面で、心からのご指導並びにご協力をいただきまして、改めて御礼申し上げます。本年も、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

世界的な大不況の中、国政では「政局」や「政策」議論が横行しています。残念ながらそこには、政治が最も大切にしなければならない国民・県民の姿がなかなか見えてきません。私たちが愛するこの故郷を次世代にしっかりと引き継ぐ、弱く困っている方々を最優先に着実に物事を実行する、旧態依然とした悪習を率先して廃し、自らの頭で考えぬいた社会を創造する、こういう政治として当たり前にしなければならないことを、当たり前に実行する、普通の政治の確立こそが急務です。

新潟県にとっても、今年は飛躍の年にしなければなりません。地方経済の疲弊、農林水産業の停滞、教育の混迷や地域社会の崩壊、大幅な人口減少など危機が叫ばれて久しいものの、大観光交流年(NHK大河ドラマ「天地人」放映やトキめき新潟国体の開催など)による交流人口の増加、食糧自給率や食の安全への意識の高まりから農業大県・新潟への期待、県立大学の新設など、大いなる契機の年なのです。県民・住民ひとりひとりが生きがいを持ち、希望と誇りを胸に抱きながら暮らせるよう、県政の場でもっと真剣

に議論をし、夢を実現していくべきです。

最後になりますが、皆様の今年1年のご多幸とご健勝を心からご祈念し、また私自身今年もチャレンジと改革への強い闘志を燃やし続け「安心、安全で暮らしやすい新潟」の実現に向け全身全霊を傾げ取り組むことをお誓い申し上げます。

今年1年、どうか宜しくお願い申し上げます。

小林 一大 プロフィール

・誕生日／昭和48年6月12日（35才）
・血液型／O型
・家族／妻（札幌出身）(34才)
　　双子の男の子（5才）
　　女の子（0才）
・趣味／読書、映画鑑賞、旅行
　　囲碁、スポーツジム通い
・座右の銘／
Where there is a will, there is a way
不動心

平成 4年 新潟県立新潟高校卒業
平成 9年 東京大学 経済学部経済学科
卒業
平成 9年 現・東京海上日動入社
平成14年 妻・由実と結婚
平成17年 同社を退職
平成19年 新潟県議会議員 初当選
現在 自由民主党新潟県議会議員
朝日放送音楽講師 副住職
秋葉区朝日在住



過去の常任委員会での小林一大の発言録の一部要約

〈ふるさと納税について〉

◆小林一大／ふるさと納税は基本的に寄附金税制の拡充だと認識している。ただ、今までの寄附金税制と何が違うか。今まで県・市等の自治体が寄附を受けることはできたが、県が年間でどのくらい寄附を頂いているのか、実績・実態を教えてほしい。

◎地域政策課長／基本的に寄附金の特例措置の対象範囲が都道府県、市町村ということは変わりません。違いとしては、所得控除方式から税額控除方式になったこと。適用下限額が5,000円に下げられたこと。また、今まででは所得控除で、今の制度の住民税は市町村と県で10%なので、適用対象寄附金について10%の軽減効果しかなかったが、少額の寄附の場合、所得税と合わせ5,000円を超える部分が税額控除されるということで、寄附をしやすい環境が整備されたと思う。実態ですが、平成18年度が約2,800万円、平成17年度が約1億5,800万円、平成16年度が約7,000万円、平成15年度が約3億2,500万円の寄附がされており、年度により金額や、教育や高齢者福祉を使ってほしいといった使途希望にもいろいろと差が出ている。

◆小林一大／ふるさと納税という制度が始まると、先進的に取り組む自治体との競争が激しくなる。大いに知恵を出し結果的に寄附をたくさん頂けるよう、新潟県の魅力アップに今後とも努めていっていただきたい。

〈キャリア教育について〉

◆小林一大／県の「夢おこし」政策プラン評価委員会で、キャリア教育の推進についてインターンシップ等を実施した高等学校の割合が平成18年度目標値の80%に対して81.2%。当該年度達成度が126.7%。評価基準達成率の区分で110%以上の段階で順調という評価が出ている。各学校により異なると思うが、どの位の期間、どのような事業所に、インターンシップを経験させているのか。

◎高等学校教育課長／企業体験等は勿論、福祉施設等でのボランティア活動も含めて仕事体験するという趣旨でインターンシップと考え大体3日間取り組んでいる。そのほかに学校ではいろいろな講演会等も行っており、このインターンシップ等も含めた全体でキャリア教育ということだと考えている。成果については、進学も就職もしないという生徒が一時1,500人を超えていたが、平成19年春には1,000人程度まで減ってきたという効果が見えてきたと考えている。

◆小林一大／子供たちには、大人が将来の方向性を決めてあげるより、そのときに自分自身で責任を持って決めることができる判断力をきちんと身につけさせてあげることが本当の意味でのキャリア教育だと思っている。今後ともしっかり進めていっていただきたい。

〈携帯電話について〉

◆小林一大／少子高齢・青少年対策特別委員会で携帯電話のフィルタリング機能について議論した。小中学生の携帯電話保持の実態を伺う。

◎義務教育課長／平成19年7月の内閣府調査で、小学生が31.3%、中学生が57.6%という数値が出ている。新潟県としては平成16年の青少年健全育成実態調査で、小学生が5.0%、中学生が14.6%、高校生が94.1%。直近の調査から言えば、全国とほぼ同様の所持率ぐらいに上がってきているのではないかと認識している。

◆小林一大／携帯電話は通話だけでなく、高度な情報端末として、インターネットと接続し、ブログやプロフ、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)、学校裏サイト等を通じて陰湿な苛めや犯罪と結びつく可能性も強い。昔は家庭に1台の固定電話で、子供たちはその電話を使わないと話が couldn't be understood. 今は子供が携帯電話を持つということで、自分の部屋に閉じこもるということもあるらしい。

携帯電話を学校内に持ち込まないというのももちろん、保持の禁止を促すような取組をしている小中学校があるとも聞く。全国

的な事例など、詳しく教えてほしい。

◎義務教育課長／現在(H19秋当時)、児童・生徒の携帯電話保持を規制する条例があるということは承知していない。しかし、全国的に青少年健全育成条例を改正し、有害情報を閲覧させないようプロバイダーや携帯電話会社への努力規定を設け、フィルタリングサービスの利用促進を努力義務とする改正などの動きが進められている。

〈県債の格付けについて〉

◆小林一大／県債発行についてムーディーズ社からAa1の格付けを取得したことは承知しているが、格付けの経済的意義について、発行主体の県が県民や機関投資家に簡単に説明する極めて安価な手段であり、情報の非対称性を解消する手段と理解しており、それは大変良いことと思う。この格付けを取得した意義を改めて教えてほしい。

◎財政課長／一つは財政状況を県民や機関投資家に分かりやすく、明白に一言でお伝えする手段として活用する。いま一つは、2008年から海外機関投資家が地方債に投資をしたときの利子非課税措置が講じられる。このことで海外投資家が地方債に関心を持つと考えるが、国際的な格付け機関からの格付けを取得したことで、新潟県債への投資環境整備という意味では大いに効果があると考えている。

◆小林一大／新潟県と東京都は同じ格付けだが、最近は格付会社の評価自体あまり信用性がない。例えばサブプライムローンを組み込んだ住宅ローン担保証券(RMBC)が、Aaaの評価から、あっという間にB3になったという状況もある。Aa1を取得し、大々的に県民や投資家に発表することで満足するのではなく、これから県政運営や財政運営をしっかり行い、知事も機関投資家や会社に出向いて説明をするなど努力を続けていただきたい。

紙面の関係もあり、一部しか紹介できませんが、他にもさまざまな質問をさせていただいております。

詳しくご覧になりたい方は、新潟県議会ホームページをご確認下さい。

中国黒龍江省・広東省を県議会代表団として訪問させて頂きました

三林議長を団長とする県議会訪中代表団13名で8月31日から9月4日までの5日間、中国黒龍江省および広東省の人民代表大会常務委員会の招請を受け、両省を訪問しました。両省では、人民代表大会常務委員会の代表者と懇談を行い、今後とも友好交流を一層深めていくことを確認しました。

また農業関係の施設や環境・産業関係の企業などを訪問し、躍進を続ける中国経済の実態を視察しました。

なお、広東省では、10年に及ぶ本県議会と広東省人民代表大会常務委員会との交流の成果を振り返り、新たに双方の友好交流と協力関係をさらに強化・発展させるため、友好関係に関する協議書に調印しました。



*中国における、省の人民代表大会常務委員会は日本の都道府県議会に相当します



訪中の様々な場面